

大会要項

1 主題 「新たな時代を切り拓き、 よりよい社会を創り出していく人を育てる中学校教育」

2 趣旨

新型コロナウイルスに対応した臨時休業により、今、学校では子どもたちの学力保障をはじめ、年間指導計画の見直しなどが喫緊の課題となっています。また、将来的には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や人工知能（AI）の飛躍的な進化等による社会構造や雇用環境が一層の変化し、さらに、急激な少子高齢化が進む我が国にあっては、一人ひとりが持続可能な社会の担い手として期待されるなど、新たな局面を迎えるだろうと予想されています。

このような激動する時代を生きる子どもたちには、様々な変化に積極的に向き合うとともに、高い志や意欲をもつ自立した人として他者と協働しながら、新たな価値を生み出し、よりよい未来社会を創り出す力が求められます。そして、こうした人材の育成が、これからの中学校教育の果たすべき役割であるといえます。

まもなく全面実施となる新中学校学習指導要領では、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが示されました。そのために、確かな学力の育成、道徳教育の充実や体験活動の重視、豊かな心や健やかな体の育成を基本に据えて、これからの時代を生きる子どもたちに求められる資質・能力の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善やカリキュラム・マネジメントの推進など、新たな教育課題への対応が必要とされています。

また、“子どもたちの希望と未来のために”と策定された三重県教育ビジョンでは、『三重の教育宣言』として基本理念を掲げています。そこには、教育が担う使命とともに、「子どもたちに、生きる喜びを感じながら、志を持って夢を実現させていく力、他者と支え合いながら社会を創っていく力を身につけさせる」という目標や、「学校は、教職員が高い志と使命感を持って子どもたちと向き合うことを通じ、一人ひとりの持つ可能性を開花させ、生き抜いていく力を育み、家庭・地域との幅広い「協創」体制を築く中で、地域に開かれ、信頼される学校づくりをすすめる」という学校の役割も示されました。

しかし、中学校現場では、いじめや不登校、経済的な格差、虐待など、学校だけでは解決し難い複雑かつ多様な事案が山積し、そして、部活動のあり方も含め、教職員の働き方改革も喫緊の課題として対策を迫られています。こうした現状への対応も併行して進めながら、子どもたちの「生き抜く力」の育成を目指した学校づくりを実現するため、校長として研鑽を深めることが重要です。

三重県小中学校長会中学校部会は、全日本中学校長会研究協議会の主題のもと、学校経営の責任者としての使命感と確固たる教育理念を持って教育課題に挑み、校長の資質向上と各校における学校経営の充実を目指して歩んできました。

本大会では、これまでの研究成果や豊かな経験に基づく実践提案を受け、各々の学校経営ビジョンや教育理念をもとに議論を深め、リーダーシップを発揮する上での苦労や悩みも交流しながら、成果と課題を整理して三重の中学校教育の発展に資することにより、広く県民の信頼につなげていきたいと願っています。

- 3 主 催 三重県小中学校長会 中学校部会
- 4 期 日 令和2年8月25日(火)
- 5 会 場 全体会：男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール
分科会：三重県総合文化センター内各会場
- 6 日 程 9:30～9:50 受 付
10:00～12:00 全 体 会
開会行事 10:00～10:20
会場設営 10:20～10:30
記念講演 10:30～11:50
諸 連 絡 11:50～12:00
12:00～13:00 昼食休憩
13:00～16:00 分科会・討議のまとめ

7 記 念 講 演
演 題：「 (未 定) 」

講 師： 三重県総合博物館 館長 大野 照文 様

8 分科会提案・司会・記録・運営委員一覧

| | 提 案 | 司 会 | 記 録 | 運 営 |
|---|---|-----|-----|-----|
| 1 | 井上 征樹 (東員町・東員第二中) | | | |
| 2 | 井上 久 (鈴鹿市・千代崎中) | | | |
| 3 | 中森 早苗 (名張市・名張中) | | | |
| 4 | 和田 弘 (津市・久居西中) 寺本 一夫 (志摩市・文岡中) | | | |
| 5 | 森井 義和 (松阪市・飯高中) | | | |
| 6 | 上ノ坊 淳 (紀北町・三船中) | | | |
| 7 | 小林 達哉 (南伊勢町・南島中) | | | |
| 8 | 立嶋 信雄 (御浜町・御浜中) | | | |

9 分科会研究題および研究の視点等

| 分科会 | 研究題および研究の視点 | 提案担当 | 会場 |
|-----|---|--------------|----------------------------|
| 1 | <p>◇ 「カリキュラム・マネジメント」の推進</p> <p>① 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていく教育課程の編成・実施</p> <p>② 教育課程の実施状況を把握し、その改善を図るための学校評価の在り方</p> <p>③ 外部の人的・物的資源を有効活用し、家庭や地域社会との連携・協働を深める教育課程の編成・実施</p> | いなべ市 員弁郡 | 男女共同参画 センター3F 特別会議室 |
| 2 | <p>◇ 「主体的・対話的で深い学び」の実現</p> <p>① 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」を実現する教科指導の改善</p> <p>② 全ての学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力の向上</p> <p>③ 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による学習評価の開発</p> | 鈴鹿市 | 文化会館2F 小会議室 |
| 3 | <p>◇ よりよく生きようとする意思や能力を育む道德教育の充実</p> <p>① 物事を多面的・多角的に考え、生き方についての考えを深める道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成</p> <p>② 自らを振り返って成長を実感し、課題や目標を見付けることができるような、主体的に道徳性を育むための指導の工夫</p> <p>③ 道德教育推進教師を中心とした指導体制の充実</p> | 名張市 | 文化会館2F 中会議室 |
| 4 | <p>◇ 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実</p> <p>① 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を機に「する・みる・支える・知る」など、スポーツとの多様な関わり方を選択、実践できる力の育成と体力の向上</p> <p>② 食育の推進と心身の健康の保持増進に関する指導の充実</p> <p>③ 身の回りの安全、交通安全、防災に関する指導及び情報化等の進展に伴う新たな安全指導上の課題に対する指導の充実</p> <p>◇ 人権・同和教育の推進</p> <p>① 人権・同和教育の推進</p> | 津市 志摩市 | 文化会館2F 大会議室 |
| 5 | <p>◇ 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実</p> <p>① 社会的・職業的自立のために必要な能力（基礎的・汎用的能力）を育成するキャリア教育の充実</p> <p>② 教育活動全体を通じた組織的・計画的な進路指導の充実</p> <p>③ 学校と地域・社会や産業界等が連携・協働した職業体験活動やインターンシップ等の体験活動の充実</p> | 松阪市 | 男女共同参画 センター2F セミナー室B |
| 6 | <p>◇ 自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実</p> <p>① 好ましい人間関係を築き、他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する特別活動、部活動等の在り方</p> <p>② 不登校やいじめ問題、自殺（自傷行為）等への対応の在り方</p> <p>③ 家庭や地域社会及び関係機関、専門スタッフ等との連携・協力を密にした生徒指導の推進</p> | 尾鷲市・ 北牟婁郡 | 生涯学習 センター2F 小研修室 |
| 7 | <p>◇ 多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成</p> <p>① 生徒や保護者、地域の信頼に応えられる資質・能力を備えた教員の育成と研修の在り方</p> <p>② 教科等の専門性と指導力を高める人材育成と研修の在り方</p> <p>③ 地域と連携・分担し、組織的・協働的に学校経営に携われる教員の育成</p> | 度会郡 | 生涯学習 センター4F 小研修室1 |
| 8 | <p>◇ 地域との連携・協働による「チーム学校」の実現</p> <p>① 教職員の専門性を高め、組織力を高める学校経営の在り方</p> <p>② 外部人材と専門スタッフを活用したチーム体制の構築</p> <p>③ チームとしての学校と地域の連携・協働体制の在り方</p> | 熊野市・ 南牟婁郡 | 生涯学習 センター4F 小研修室2 |

